

令和6年度職員採用試験（大学卒業程度）
畜産一般 専門記述試験（6.6.16）

＝課 題＝

○物価高騰時における、畜産物の安定生産と供給について

国内畜産業の経営コストに占める飼料費の割合は高く、繁殖牛（子牛生産）で43%、肥育牛で38%、生乳（北海道除く）で54%となっています。（令和4年度）

また、粗飼料自給率は78%であるものの、濃厚飼料自給率は13%に過ぎず、飼料自給率（全体）で見れば26%となっており、輸入依存度が高い状況と言えます。（令和4年度）

このような中、広島県内では、生産者団体がTMR（Total Mixed Ration（完全混合飼料））を製造し、和牛及び乳牛へ均一な飼料を通年供給する体制の構築・普及に取り組んでいます。

一方、昨今の円安基調の為替相場やロシアのウクライナ侵攻など世界を取り巻く社会情勢の変化は、輸入飼料の高騰など本県の畜産物の安定生産に大きな影響を与えています。

そこで、これらの社会情勢などによる広島県の牛肉生産と牛乳生産に係る現状と課題を挙げ、どのような対策や施策を県として実施すべきか、あなたの考えを述べなさい。